



2026年1月7日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 発電所の状況について（2026年1月7日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事（2024年10月1日～） ・軽油貯蔵タンク他解体工事（2025年4月21日～）
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定） 新規制基準適合性確認の申請に向けた取り組み ・追加調査実施中（2025年9月16日～）【別紙】

（ ）内は定格電気出力

＜新規制基準への適合性審査に係る申請状況＞

	申 請	申請日	補正日	許認可日
2号機	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（2025年12月2日～2026年1月7日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（2026年1月7日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間 9:30～16:30】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています>

- ① 第28回（令和7年度）「小学生人権ポスターコンテスト」及び
第44回（令和7年度）「全国中学生人権作文コンテスト」福井県大会入賞作品展
福井県内の小学5・6年生の児童が描いた人権ポスターや、中学生が書いた人権作文の入賞作品展です。いじめ問題や男女差別問題等、人権をテーマとした作品を40点展示予定です。（主催：福井地方法務局、福井県人権擁護委員連合会）
(1月6日～1月11日（初日は12:00から、最終日は15:00まで))

② 敦賀市内高等学校 3校合同作品展

敦賀市内の高等学校3校（敦賀気比高等学校／敦賀工業高等学校／敦賀高等学校）
合同による絵画、書道、研究製作等の作品展です。学校のクラブ活動等で生徒の皆さん
が制作した作品を33点展示予定です。 (1月20日～1月25日)

③ 佳奈習字教室＆ヴァレイソーアイソングジャム敦賀校 作品展

当ギャラリーでは初となる、佳奈習字教室（代表：上塚 佳奈 様）＆ヴァレイ
ソーアイソングジャム敦賀校（代表：堀居 唯 様）の子供たちによる作品展です。どちらも頑張りがたっぷり詰まった作品を75点展示予定です。

(1月27日～2月1日（最終日は15:00まで))

以上

敦賀発電所2号機 新規制基準適合性確認の申請に向けた現地調査

別紙

現在、現地における追加調査を行っています。掲載している写真は「その他の破碎帯等」の調査を目的とした作業の一つとして、調査坑(立坑)周辺の地盤改良作業を行っているものです。
引き続き、安全確保を最優先に調査を進めてまいります。

項目	調査目的	調査位置・概要		実施状況
1 K断層の分布と性状	K断層の岩盤及び深部での分布や性状を確認し、その特徴を詳細に把握	(1)	K断層が屈曲している箇所における岩盤までの掘削や、D-1トレーニングの地下深部までのボーリング調査を行う。	現地調査中
2 K断層の活動性	K断層の活動年代を特定するための地質データを更に拡充	(2)	<ul style="list-style-type: none"> D-1トレーニングの北西法面のボーリング等による地質の詳細調査を行う。 ふげん道路ピットの上載層から採取したブロックの内部構造をCTで確認する。 	現地調査中
3 K断層の連続性	K断層の連続性の有無を、従来のボーリングデータによる評価に加え、岩盤面において直接確認	(3-1)	ふげん道路ピットを岩盤まで掘削し、K断層が南方に連続していないことを直接確認する。	現地調査中
		(3-2)	ふげん道路ピットから敦賀発電所2号機原子炉建屋側への延長部において、調査坑によるK断層の追跡調査を行う。	(3-1)の調査後に対応
4 その他の破碎帯等	K断層が重要施設の直下まで連続していないことを確認するとともに、敷地全体の破碎帯等の地質データを取得	(4)	原子炉建屋周辺の地質、破碎帯の性状、原子炉建屋直下の破碎帯の活動性、その他の破碎帯の分布、活動性等について、ボーリング調査、調査坑による調査を行う。	現地調査中

<追加調査概要>

地盤改良イメージ図

D-1トレーニング南方での調査




【その他の破碎帯等】調査坑の掘削(地盤改良作業)

- 立坑の壁面防護・止水を目的に地盤改良を行います(深度約2mから約18mまでの範囲)。
- 立坑掘削予定地の周囲に薬液を注入する管を挿入するため、地面を削孔している様子です。